

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22042	事業名	まちの記録編さん事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進			款	10:教育費
		施策の方向	04:歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携			項	05:社会教育費
		重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト			目	06:博物館費
事業期間	R 4 年度 ~ R 6 年度	主な根拠法令等		-			

評価分類	B2
------	----

担当部署	
部	市民文化部
課	歴史博物館

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	平成から令和において目まぐるしく変化する亀山市の移り変わりの記録を編さんし刊行することは、今に暮らす市民や次世代の市民への継承に必要である。	市民、市の移り変わりに関心ある方々	まちの記録を編さんし、市の移り変わりを次世代へ継承する手がかりとしての刊行物を作成する。また編さんで収集した資料も編さん終了後に、市広報や博物館、図書館の活動などを通じ学校や地域で活用できるようにし、更に地元を知る機会を作る。	図書館や関係部署との横断的な編さん体制の下、編さん方針を決定するとともに、地域資料・写真・新聞スクラップなどの抽出・収集や原稿執筆を行い、平成元年から令和までの市の移り変わりを記録した冊子として刊行する。なお、この刊行物は節目となる市制施行20周年の年となる令和6年度3月に刊行する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○編さん方針の決定	○地域資料や写真等の抽出・収集 ○原稿執筆、デザイン・レイアウト検討 ○カメラマンによる空中写真や風景写真の撮影	○地域資料や写真等の抽出・収集 ○原稿執筆、デザイン・レイアウト編集 ○記録書の刊行 ○発送				
	活動実績 (計画通り実施できたか)	作業部会において、刊行物による「まちの記録」として扱う時期を、平成元年から令和の現在までとして、文章による亀山市の行政等の歩み、写真による現在の風景、年表、索引の基本構成を固め、文章の目次構成原案を作成し、執筆準備を行った。また、写真に残したい今の風景をどのように募集するかを検討し次年度への課題とした。	平成元年度から令和5年度までの広報記事の抽出し、執筆原稿に合わせて広報Gより提供を受けた画像から掲載するものの抽出作業等を行った。関係課のチェックや情報提供を得て第7章の執筆終了後入稿し、委託で組んだデザイン、レイアウトの基本形を作った。引き続き他の章についても執筆している。委託撮影は空中撮影が6分の1、地上撮影は5分の1が終了した。	まちの記録編さんの素材となる写真の撮影を空中撮影・地上撮影とも完了した。より良いものとするために構成を見直すとともに、データでの活用を検討する中で内容も再度精査することとした。				
計画額	事業費		0千円	6,400千円	5,139千円	6,100千円	4,828千円	
	国・県支出金		0千円					
	地方債		0千円					
	その他		0千円					
	一般財源		0千円	6,400千円	5,139千円	6,100千円	4,828千円	
決算額	事業費		0千円		5,138千円		132千円	
	国・県支出金		0千円		0千円		0千円	
	地方債		0千円		0千円		0千円	
	その他		0千円		0千円		0千円	
	一般財源		0千円		5,138千円		132千円	
①期間内計画額(R4-7)			12,500千円	②期間外計画額(R8-)		0千円	①+②総計画額	12,500千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	4,828千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	編さん作業の進捗率			活動	%	計画値 実績値		70 40	100 60
					計画値 実績値				
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	C	地域や学校等との連携事業や様々な歴史や文化を学ぶ機会の提供の場において、まちの記録編さん事業で収集した未来に伝えたい亀山市の風景などのデジタル写真を活用することができる。
		あまり成果を得られなかった

事業の対象	事業の目的
市民、市の移り変わりに関心ある方々	まちの記録を編さんし、市の移り変わりを次世代へ継承する手がかりとしての刊行物を作成する。また編さんで収集した資料も編さん終了後に、市広報や博物館、図書館の活動などを通じ学校や地域で活用できるようにし、更に地元を知る機会を作る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定		C	C	
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	完了	

1次評価者	市民文化部 歴史博物館 館長 米津 ひろみ
最終評価者	市民文化部 歴史博物館 館長 米津 ひろみ